

クリックアーク

アークアカデミーのニュースレター!

Vol. II



かんこく
韓国
ちゅうごく
中国
タイ
ベトナム

ミャンマー
スリランカ
アメリカ
パキスタン

くみ
9組

くみ がくせい
アークアカデミーの9組の学生と
みやぎけん なとり しりつ だいいいちちゅうがっこう ねんせい こくさいこうりゅう
宮城県名取市立第一中学校3年生の国際交流へようこそ。

ちゅうがくせい
中学生たちはどうだったか、
こくさいこうりゅう みち よ
また、わたしたちの国際交流までの道のりはどうだったかを読んでください。

みやぎけんなとりしりつだいいちちゅうがっこう がくせい で あ 宮城県名取市立第一中学校の学生との出会い

グループ1：トン・アン(ベトナム)、パクジュヒョン(韓国)、洪智姫(韓国)

2002年05月9日に私たちは宮城県名取市立第一中学の学生と国際交流をしてきました。渋谷にある大向会館に向かっている間、みんな緊張してドキドキしていたことが思い出されます。およそ1ヶ月かけ、この日のためにみんなで協力し準備をしてきたので、中学生に会うのが楽しみでした。留学生として、また国際交流を行っている者の一員としてこの交流会に参加できたということは貴重な経験になりました。中学生たちはみんな親切で明るかったです。私たちだけでなくもっと多くのアークの学生たちがこのような機会を与えられるといいと思いました。



私たちは各自の自己紹介のあと中学生といろいろ話しをしました。日本と私たちの国の違いや日本へ来ておどろいたことなどを話したり、日本の中学生の生活などを聞いたりしました。それは本当に楽しい時間でした。一番印象に残っているのは、「どうして日本の学生は短いスカートをはいているのか」という質問に対して、中学生達が「かわいく見せるため」「足を長く見せるため」と

答えたことでした。

右の写真は<ドルトンジギ(石投げ)>という韓国のゲームを中学生たちと一っしょにしている写真です。「<ドルトンジギ>ゲーム」というのは、地面に線を書いて石を投げて片足でケンケンをして順番に8番まで行って戻るといゲームです。中学生たちは一度もこのゲームをしたことがないと言っていました。

《感想》

全体的にすべてがうまくいったと思います。親しみやすくとてもいい雰囲気での自分の国と日本について考えや経験や知識などを交換しあいました。うまくいったのは中学生たちも私たちのグループもよく準備をしてきたからだだと思います。

しかし、交流会の時間は短くて、もっとお互いのことを知りたかったのですが、話す時間がなくて残念でした。それに、ゲーム用のスペースがもう少し広がったら、より楽しくリラックスしてゲームができたろうと思います。

今回の国際交流は私たちのような外国人にはとてもいい経験でした。日本語の練習ができたとともに私たちの知識も広がりました。是非中学生たちにもう一度会いたいです。



中学生と、^{ちゅうがくせい}ミャンマー人、^{じん たが}お互いに^{いけん}意見を出^です

グループ : 2

名前 : チョー ナイン ウー、レイ レイ ウー、コン ジャ

国籍 : ミャンマー



9組の私^{くみ わたし}たちは宮城県名取市立の第一中学校^{みやぎけん なとりしりつ だいいちちゅうがっこう}の3年生^{ねんせい}と渋谷^{しぶや}の大向^{おおむかい}会館^{かいがん}で国際交流会^{こくさいこうりゅうかい}をしました。最初に、いろいろな国のあいさつ^{あいさつ}のことで練習^{れんしゅう}してから、そのあいさつがあっていたら握手^{あくしゅ}して、ノートに名前^{なまえ}を書く^かというように、自己紹介^{じこしょうかい}をしました。そのあと中学生^{ちゅうがくせい}といろいろな話^{はなし}をしました。中学生^{ちゅうがくせい}たちは名取市^{なとりし}の季節^{きせつ}とか、有名な食べ物^{ゆうめいな たべもの}とかを説明^{せつめい}してくれました。一番^{いちばん}有名な食べ物^{ゆうめいな たべもの}はラーメン^{らーめん}に入^{はい}っている「なると」

だそうです。私^{わたし}たちは「なると」を見た^みことはありますが、食べた^たことはない^こので、今度^{こんど}食べてみよう^たと思^{おも}いました。名取市^{なとりし}は東京^{とうきょう}より涼^{すず}しくて「東京^{とうきょう}は暑^{あつ}い」といってました。将来^{しょうらい}の夢^{ゆめ}についてもお互^{たが}いに話^{はなし}しました。先生^{せんせい}になりたい学生^{がくせい}もいたし、医者^{いしや}になりたい学生^{がくせい}もいたし、いろいろな夢^{ゆめ}を持って皆^{みんな}がんばっているな^{おも}いました。将来^{しょうらい}の夢^{ゆめ}はミャンマーの子供^{こども}も日本^{にほん}の子供^{こども}も同じ^{おなじ}だということがわかりました。最後^{さいご}にゲーム^{ゲーム}をしました。私^{わたし}たちはミャンマーの子供^{こども}たちがよくするゲーム^{ゲーム}を中学生^{ちゅうがくせい}と一緒^{いっしょ}にしました。ゲームの名前^{なまえ}は「ミヤッシイミイッタン」です。これはミャンマーの言葉^{ことば}で「目^めをつぶって遊ぶ^{あそぶ}」という意味^{いみ}です。ゲームは場所^{ばしょ}が狭^{せま}くて、人^{ひと}が少^{すく}なかつたので残念^{ざんねん}でした。説明^{せつめい}の仕方^{しかた}は何回^{なんかい}も練習^{れんしゅう}したので練習^{れんしゅう}のとおり^{とおり}にうまくできました。交流会^{こうりゅうかい}の時間^{じかん}は短^{みじか}かったですが、とても楽^{たの}しかったです。もしできたらもう一度^{いちど}他^{ほか}の日本^{にほん}の学生^{がくせい}たちにも会^あいたいです。



〈「楽しかった交流会を思い出しながら」〉

グループ : 3

名前 : コスタ (スリランカ)、チャーナカ (スリランカ)、ジョン (韓国)

5月9日は私たちには忘れられない日になりました。その日は宮城県にある名取市立第一中学校の学生たちとの交流会でした。

毎週金曜日自己紹介やゲームなどをみんな熱心に準備してきました。

私たちのグループはスリランカのゲームをしました。名前は「タニカクレンアッリーア」です。スリランカの言葉で『片足で立つ』という意味です。ゲームの名前がちょっと難しいから”けんけんタッチ”と呼ぶことに決めました。中学生たちはみんな楽しくゲームをしてくれました。

また、中学生に朝学校に来てから家に帰るまで、どんなことをしているかを教えてもらいました。毎日一時間スポーツの授業があると聞いてびっくりしました。スリランカと韓国ではスポーツの授業は一週間に1~2回あるだけです。教室の掃除の時間も韓国、スリランカ

と日本はちがいます。韓国は昼ご飯を食べた後、掃除をします。スリランカの男の子は掃除をしません。日本は全部の授業が終わって、家に帰る前に掃除をするそうです。

スリランカと韓国に比べて、日本の中学生は宿題もあまりないし、面白い部活も多いようでした。とてもうらやましかったです。

お別れするとき、9組のみんなが作ったカレンダーを中学生の代表にわたしました。

楽しかった時間



たくさん話しました

国際交流の感想

グループ4

梅雪洋 (中国)
王峰 (中国)

中学生の第一印象は「可愛い」でした。初めはお互いに恥ずかしくて、そのまま座っていただけでした。ゲームの時中学生達は私たちの説明を本当にちゃんと聞いてくれて、嬉しかったです。ゲームを始めたらずかしい気持ちはすっかり忘れていました。

宮城県名取市立第一中学校の学生達は東京の中学生より優しい感じがしました。

東京の学生はよく化粧しているし、勉強したくなさそうだし、学生じゃないみたいですが、それに対して

宮城県名取市第一中学校の学生は、中学生らしい中学生でした。学生達に「夢は何ですか」と聞いてみたところ、「夢がない」といっていて、私達は本当にびっくりしました。私達の中学生のころとは全然違うんだなと思いました。留学生としてこんな経験は珍しいことなので、中学生に感謝したいと思います。



きれいなカレンダーができた



たの
楽しいゲーム

中学生といっしょに

グループ5

ムンセヒ (韓国)、ジェイソン (アメリカ)
ティラボン (タイ)

I love you というゲームを一緒にしました。

中学生の第一印象は。。。

「少し恥ずかしそうな顔をしているけどやっぱり中学生らしい」でした。初めは私たちも少し緊張していたけど、明るくてかわいくて楽しそうな顔を見て安心しました。

まず私たちは自己紹介と自分の国のあいさつを紹介しました。中学生たちは私たちのくにのあいさつをちゃんと練習してくれ、私たちに上手



にあいさつしてくれました。とても楽しかったです。私たちの日本語はまだ下手ですが、中学生たちは一生懸命理解しようとしてくれました。



ゲームをしたとき、やっとみんなが明るくなりました。初めは恥ずかしがっていた男の子もゲームをしている時は笑っていました。ふんいきを良くするためにゲームをすることは大切だと思いました。そこでゲームを成功させるためのヒントを下に書きます。

▶ 簡単なルールで説明しやすいゲームを選んだほうがいい。
私たちのグループはゲームの説明がうまくできませんで

した。だから新しいルールをその場で作ってゲームを始めました。最初のゲームとはちょっと変わってしまいましたが、楽しくできました。

- ▶ 中学生と会う前にグループの中できちんと役割を決めてください。さらに、グループリーダーを決めたほうがいいです。私たちはリーダーを決めなかったので中学生を前にして、恥ずかしくてだれも説明を始められませんでした。ゲームを始めるまでに時間がかかってしまいました。
- ▶ みんなで一緒に遊べるゲームをするべきです。時間が短いので一人ずつするゲームにすると時間が足りなくなってしまうです。
- ▶ 時間が短いとはいえ、短すぎるゲームもよくないです。短いゲームの場合は他のゲームも準備しておいたほうがいいです。
- ▶ 一番大切なのは、皆で楽しく遊ぶことです。

私たちがすごくびっくりしたのは、私たちのために日本の文化や食べ物について具体的に絵で説明してくれたことです。それまで全然知らなかったすしの種類や着物の歴史を聞いて、私たちは本当に勉強になりました。日本は昔着物を十二枚着ていたことや、季節によって着物の色が違うことなどを知りました。こんな経験はめったにないことなので中学生に感謝したい気持ちです。



パキスタン・中国と日本人中学生との国際交流

グループ 6 ソフィン (パキスタン人)

張克艶 (中国人)

これ何

今、皆さんが見ている写真はアークの9組の学生たちが日本人の中学生と国際交流会をした時の写真です。



自己紹介

私たちは6つのグループを作ってじゅんびしていましたが、でも6グループの学生が休んでしまったので、私たち(ソフィン、張さん)が6グループの中学生とおしゃべりをしたりゲームをしたりしました。どうだったか下を読んで下さい。



初めに

まずお互いに自己紹介をしました。わたしたちのグループの中学生は全部で6人。男子が1人、女子が5人でした。自己紹介は、まず中学生が私たちの国のあいさつを聞いて覚えました。正しく言えたら握手をしてノートに名前を書いてもらうようにしました。次にゲームをしました。私たちはみんなに「笑顔」というゲームをおしえました。初めはみんなできませんでしたがみんな若かったし、それにいっしょうけんめいやったのですぐできるようになりました。



教えてもらったこと

名取市は仙台から近い有名な場所です。宮城県は500年の歴史があります。中学校の横に流れている川も同じくらい古い歴史があるそうです。その人たちは心がきれいで幸せな生活をしていると言っていました。私たちは学生にかぶきの話をしてもらいました。かぶき役者は16才でかぶきのせかいに入って、けいこをするそうです。かぶき役者は男だけだということを知って私たちは本当にびっくりしました。

終わりに

アークの学生が心をこめて作ったカレンダーを中学生にあげました。

校長先生、私たちにこのような機会を与えてくださりありがとうございました。

出版： アークアカデミ-渋谷校9組
出版日： 2002年6月20日
住所： 東京都渋谷区渋谷1-11-6渋谷111ビル3F
Tel: 03-3409-4166
Fax: 03-3797-0034